

やまのてせん

URL : <https://youtu.be/HT3QfG9xHKw>

今回は「やまのてせん」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字にはふりがながあります。
後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字にふりがなはありません。
学習にお役立てください。

■私のこと
私の名前は山田さとるです。東京に住んでいます。東京は人が多く、町も広く、
たくさんの電車が走っています。

東京にはいろいろな町があります。町によって道の広さや建物の形、人の歩き
方が少しずつちがいます。歩くことで、そのちがいをかんじるのが楽しいです。

旅行で東京に来た人と話すこともあります。はじめての人は、どの電車にのれ
ばいいのかわからず迷うことが多いです。私は、そういう人に分かりやすいこ
とばでゆっくりせつめいします。むずかしいことばを使わず、やさしいことば
で話すようにしています。
私は、人が安心して町を歩ける東京であってほしいと思っています。やさしい
ことばで話すことは、人をたすける第一歩だとかんじています。

東京の電車の中でも、私は山手せんがいちばん使いやすと思います。町を丸
くつないで走っているので、まちがえてのってもまた同じ場所にもどることが
できます。旅行の人にはとてもべんりな電車です。

■やまのてせんはどんな電車？

やまのてせんは、東京の中心をまるく走る電車です。全部で三十の駅があり、新宿・渋谷・池袋・上野など、東京でも人気のある町をひとつのせんでつないでいます。

ぐらりと一周しても、のりかえなしで約一時間ほど。毎日たくさんの人がこの電車をりをようしています。

やまのてせんのいちばんのとくちょうは、「まるい形で町をつないでいること」です。たとえ行き先をまちがえても、そのままのっていけば、また元の駅にかえることができます。そのため、東京に初めて来た人でも安心してりようできます。

電車は朝早くから夜おそくまで走っており、数分おきに次の電車が来ます。待つ時間がみじかく、いどうがとてもスムーズです。旅行者にとっても、つうきんや通学をする人にとっても、毎日の生活にかかせない電車です。

やまのてせんのしゃそうからは、高いビルやにぎやかなしょうてんがい、こうえんなど、東京のさまざまなひょうじょうを見ることができます。まるで東京という大きな町の「顔」を一つずつ見てまわるような気分になります。やまのてせんは、町と町をつなぐだけでなく、人の生活や時間をつないでいる、東京をだいひょうする電車です。

■まわりかたを知ろう

やまのてせんは、東京の中心をぐらりと一周する電車です。時計のようにまるくつながっていて、「うちまわり」と「そとまわり」という2つのほうこうがあります。どちらにのっても、まわっていけば同じ駅にかえることができます。たとえば、新宿から渋谷へ行くときは、どちらのほうこうの電車でも行くことができます。ただ、駅の順番や時間が少しちがうので、行きたい町に早く着くほうをえらびましょう。

駅^{えき}のあんないばんには「うちまわり」と「そとまわり」が書^かかれています。どちら^いに行く電車^{でんしゃ}かをよく見^みてからのと安心^{あんしん}です。やまのてせんの駅^{えき}には、ほとんどすべての大きな電車^{でんしゃ}やちかてつがつながっています。かんこうで東京^{とうきょう}をまわるときも、やまのてせんを^{ちゅうしん}中心^{しん}にすると、どこへ行くにもべんりです。渋谷^{しぶや}・新宿^{しんじゅく}・上野^{うえの}・池袋^{いけぶくろ}など、東京^{とうきょう}の人気^{にんき}スポットを1本のせんでめぐることができます。

はじめて東京^{とうきょう}をまわる人^{ひと}は、やまのてせんの地図^{ちず}を見^みながら、気^きになる町^{まち}で少しずつおいてみるのがおすすめです。にぎやかな町^{まち}やしずかな町^{まち}、むかしのふんいきがのこる町^{まち}など、いろいろな東京^{とうきょう}のみりよくに出会^{であ}えます。

■よく使うえきをおぼえよう

やまのてせんには、東京^{とうきょう}の中^{なか}でもとくに有名^{ゆうめい}な駅^{えき}がたくさんあります。どの駅^{えき}にもちがうとくちょうがあり、行く場所^{ばしょ}によって楽しみかたもかわります。

まず人^{にんき}気^{たか}が高いのはしんじゅくえきです。日本^{にほん}でいちばん人^{じん}が多い駅^{えき}といわれていて、デパートやレストラン、ホテルがたくさんあります。買いものやしょくじを楽しむ人^{ひと}が多い町^{まち}です。

渋谷^{しぶや}駅^{えき}は、わかい人^{ひと}があつまるにぎやかな町^{まち}です。有名^{ゆうめい}なスクランブルこうさてんやハチ公まえ広場^{ひろば}があり、写真^{しやしん}をとる人^{ひと}も多く見られます。

上野^{うえの}駅^{えき}の近く^{ちか}には、どうぶつえんやびじゅつ館^{かん}があります。東京^{とうきょう}の中^{なか}でもしぜんが多く、のんびりしたふんいきの町^{まち}です。

池袋^{いけぶくろ}駅^{えき}は、買いものやアニメが好きな人^{ひと}に人気^{にんき}のエリアです。大きなデパートや本屋^{ほんや}、アニメショップなどが立ちならんでいます。そして、東京^{とうきょう}駅^{えき}は、日本^{にほん}の中心^{しん}の駅^{えき}です。しんかんせんや地方^{ちほう}の電車^{でんしゃ}にのりかえる人^{ひと}が多く、赤れんがのたてもので、とてもうつくしいことで知られています。

やまのてせんの駅^{えき}はそれぞれにちがうみりよくがあります。いくつかの駅^{えき}の名^な前^{まえ}と場所^{ばしょ}をおぼえておくと、東京^{とうきょう}の町歩き^{まちある}がもっと楽しくなります。

■ I Cカードを使うととても楽

やまのてせんにのるときは、I Cカードを使うととてもべんりです。I Cカードは、電車でんしゃにのるときに使えるカードで、日本では「Suica」や「PASMO」がよく使われています。

カードには、あらかじめお金かねを入れておきます。えきの入り口いりぐちにある「かいさつ」でカードをタッチすると、すぐに中に入ることができます。きっぷを買うひつようがないので、とてもスムーズです。きっぷを買うときは、行きたい駅えきの場所や料金をしらべなければなりません。

東京とうきょうに初めて来た人には少しむずかしく、時間がかかることもあります。けれど、I Cカードなら、そんなしんぱいはいりません。行きたいところがかわっても、タッチしてのるだけで大丈夫です。お金は、のった分だけ自動でカードの中なかから引かれます。

I Cカードは、えきの中ちゆうにあるきかいで買うことができます。お金を入れる（チャージする）ときも、同じきかいでできます。お金が少なくなったときは、またチャージすれば何度でも使えます。さらに、I Cカードは電車でんしゃだけでなく、町の中まちでも使えることがあります。

たとえば、自動はんばいじどうきで飲みもののを買うときや、コンビニで買いものかをするときにも使える場合があります。さいふさいふを出さなくてもいいので、とても楽です。やまのてせんとI Cカードは、とてもよくみ合わせです。のりかえやしはらいがかんたんで、東京とうきょうをすいすいいどうすることができます。旅行りょこうの人にも、毎日電車まいにちでんしゃを使う人つかにも、おすすめのほうほうです。

■のるときに気をつけること

やまのてせん^{でん}にのるときは、いくつか^き気をつけたいことがあります。まず、電車^{でんしゃ}を待つときはきいろいせん^きのうちの^まがわで待ちましょう。

東京^{とうきょう}の駅^{えき}は人^{ひと}が多く、ホームもせまい^{おほ}ことがあります。きいろいせん^きより外^{そと}に出ると、あぶない^でので注意^{ちゅうい}がひつようです。

電車^{でんしゃ}のドアが開いたら、おりる人^{ひと}が先^{さき}です。おりる人^{ひと}が全部^{ぜんぶ}出^でてからのるよう^{よう}にしましょう。

ドアの前^{まえ}で立ち止ま^{たちど}まっていると、人^{ひと}のながれが止ま^とってしまうので、少し^{すこ}よけて待つと親切^{しんせつ}です。

電車^{でんしゃ}の中^{なか}では、まわり^{まわり}の人^{ひと}に気^きをつかうことも大切^{たいせつ}です。電話^{でんわ}がなったときはしずかに切り^き、音^{おと}の出^でるゲームや音楽^{おんがく}はイヤホン^{つか}を使いましょう。

せきがいっぱい^{きも}のときは、おとしよりや小^{ちい}さな子^こどもをつれてい^{ひと}る人^{ひと}にせきをゆずる気持^{きもち}をもつことも大切^{たいせつ}です。また、リュックサックやかばんは前^{まえ}にかけるか、ひざ^{うえ}の上^{うへ}にのせましょう。

人^{ひと}が多い時間^{おほじかん}には、後^{うし}ろにせお^{うし}ったままだとまわり^{まわり}の人^{ひと}にぶつか^{ぶつか}ってしまうことがあります。やまのてせん^{でんしゃ}はた^{ひと}くさんの人^{ひと}が使う電車^{でんしゃ}です。小^{ちい}さな気づかい^きをすることで、おたがい^{おたがい}に気^きもちよくの^のることができます。

■やまのてせんをじょうずに使うコツ

やまのてせん^{でんしゃ}を上手^{じょうず}に使うには、少^{すこ}しのコツ^しを知^しっておく^しとべんりです。まず、電車^{でんしゃ}のドアの近^{ちか}くには立た^たないようにすると、のりおりがスムーズ^{スムーズ}になります。

人^{ひと}が多い時間^{おほじかん}には、ドアの近^{ちか}くはこみやすいので、すこし中^{なか}に入^{はい}ると安心^{あんしん}です。

次^{つぎ}に、どの車両^{しゃりょう}にのるか^{のるか}をえらぶこともポイントです。たとえば、駅^{えき}の出口^{でぐち}やエスカレーター^{エスカレーター}の近^{ちか}くに出^でたいときは、ホームにあるあ^あんないばん^みを見ると、どの車両^{しゃりょう}が近^{ちか}いか書^かかれています。少^{すこ}し見^みておくだけで、おりたあ^あとがとて^{とて}も楽^{らく}になります。

また、朝と夕方はとてもこみます。かんこうでのるときは、その時間をさけると、すいていてゆっくりけしきを見ることができます。特に午前10時から午後3時ごろは、すこし人が少なく、写真をとるのにもおすすめです。そして、電車のまどの外にも注目してみましょう。東京の高いビルやみどりの多いこうえん、むかしながらの町なみなど、場所によってちがうけしきが見られます。同じせんでも、のる時間やほうこうによって見えるふうけいかわるのも楽しいところです。やまのてせんは、東京をぐるりとめぐるべんりな電車です。少しのコツを知るだけで、毎日のつうきんも、旅行の時間も、もっとかいてきになります。

■やまのてせんで東京を楽しもう

やまのてせんにのると、まるで東京をゆっくり旅しているような気分になります。ぐらりと円をえがくように走る電車のまどからは、ビルのあいだをぬける風、駅に流れる音、そして町ごとにちがう人のくらしが見えてきます。

たとえば目黒は、落ちついたふんいきのあるおしゃれな町です。駅のそばを流れる「目黒川」は、春になるとさくらなみきがまんかいになります。カフェやざっかてんが多く、のんびりさんぽしたい人にぴったります。

秋葉原は、電気とアニメの町です。電気店、ゲームショップ、アニメグッズのお店がたくさんあります。海外からのかんこうきゃくも多く、「オタク文化」をたいけんできるエリアです。メイドカフェなど、東京ならではの店もあります。

浜松町は、東京タワーのもより駅です。駅を出て歩くと、空にそびえる東京タワーがすぐ見えます。

夜のライトアップはとてもロマンチック。近くの「増上寺」では、しずかな日本のでんとうもかんじられます。

やまのてせんにのれば、これらの町を1本の電車でめぐることができます。どの駅にもそれぞれのみりょくがあります。時間があるときは、気になる駅でおりて、少し歩いてみましょう。カフェで休んだり、こうえんをさんぽしたりするだけでも、その町の空気をかんじることができます。やまのてせんは、東京のいまをかんじられる小さな旅そのものです。

やまのてせんはいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI

